

呼吸する 漆喰の 下地シート

ブレス Breath Sheet

「Breath Sheet」は、石膏ボードや既存クロスリフォーム用の内装下地シートです。
乾式（シート貼り）で下地を作ることで、安定した仕上がりで工期の短縮、
漆喰壁が持つ優れた機能性を向上させます。

仕様:920mm×50m

優れた調湿性

ブレスシート自身が調湿性を備えているため、弊社の漆喰と組み合わせることで、より優れた調湿性を発揮します。塗り壁仕上げ材の持つ機能性を更に向上させることができます。

ひび割れなし

ブレスシートで下地全体を覆い、継ぎ目のない一枚の下地を作り、ひび割れを防ぎます。吹き抜けなど天井が高い場合でも、ブレスシートで継ぎ目なく仕上げるすることができます。

色むらなし

ブレスシートを全面に貼り、同一の下地を作ることで、吸い込みの違いによって生じる色むらを防ぐことができます。ボードのジョイント、異なる下地の取り合い部でも安心してご使用できます。

ブレスシート×漆喰

一般的な漆喰仕上げ工程の「下塗り工程」を「ブレスシート貼り付け」にすることで、
工期短縮とコスト削減を実現します。

ブレスシート
(乾式下地)



漆喰
(湿式仕上げ)



工期短縮
コスト減

Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

ブレスシート

施工方法

ブレスシートは、漆喰の左官仕上げ用の下地シートです。

通常のクロス貼りと同じ施工方法で、使用するパテや接着剤も同じです。

ブレスシートは、ザラザラした面が下地接着面、ツルツルとした面が仕上げ面です。

準備

- ・下地の汚れやホコリなどは取り除いてください。
- ・石膏ボードなどの継ぎ目・ビス止め部分に、下塗りと仕上げの2回、パテ処理を施してください。
(パテ処理の際、ビスや釘に錆止めを行ってください。またはステンレス製のものを使用してください。)
- ・パテが完全に乾いた後、パテ用ペーパーで平滑にし、凹凸のない下地としてください。

ブレスシートの施工方法

入隅・出隅部

【入隅部】ブレスシートをカットして下地材に全面むらなく貼り付けてください。

・建物の構造に合わせてカットしてご使用ください。ひねりや伸縮がほとんどない建物の場合は、廻し貼りでもご使用いただけます。現場の施工管理者とご相談の上、施工してください。

【出隅部】ブレスシートをむらなく廻し貼りしてください。

ジョイント部

ブレスシートのジョイント部を重ね合わせ、下地を切らないよう「下敷きテープ(下地保護テープ)」を使用してカットしてください。突き付け工法の場合は、シートとシートに隙間があかないように注意してください。ジョイント部は、目地用ローラーでよく押さえて、ジョイント部の接着を高めてください。

塗り厚が2mm以下の薄塗り仕上げの場合、重ね切りしてください。突き付けの箇所は、目地用ローラーでよく押さえてジョイント部の接着力を高めてください。

ブレスシートをカットする際、石膏ボード中の石膏までカットしないよう、下敷きなどを当てて、ジョイント部をカットしてください。石膏までカットしてしまうと、仕上げ材に影響がでる恐れがあります。

ジョイント後、ブレスシートの上に糊が付着した場合、水を含んだスポンジで何度も擦らないでください。スポンジは固く絞り、サッと拭くだけにしてください。

平面部

ブレスシートのジョイント部は、下地石膏ボードなどの継ぎ目やパテ処理部と重ならないよう、10cm以上離し貼ってください。

全体の圧着には、クロス専用のハケベラを使用し、最後にスムーザーを使い、絶対に空気が残らないように貼ってください。空気を残したまま仕上げ材を施工すると、施工後にひび割れや膨らみの原因となります。

真壁にブレスシートを貼る場合は、ブレスシートが反らないようにチリ際や端部にしっかりと糊をつけ、ローラーで押さえ、接着力を高めてください。枠廻り、廻り縁、巾木も同様に対応してください。

接着剤

・デンプン系水溶性接着剤(ルーアマイルド、ウォールボンド100 など)

シーラー(推奨)

シーラー処理が必要な下地	使用するシーラー	塗布回数	1回当たりの塗布量
コンクリート・モルタル	NPシーラック(5倍希釈液)	1回	150g/m ²
ケイカル板	NPシーラック(4倍希釈液)	2回	200g/m ²
合板	ウルトラナノ浸透プライマー(原液)	2~3回	200g/m ²

注意事項

●貼り付け時に空気や塵などが入らないように注意してください。●パテ部分を平滑にして、粉も完全に除去してください。●糊を希釈するときは、クロスを貼る場合より、2割程度濃い目にしてください。●糊は糊付け機を使い、クロスを貼る場合より、多めに付けてください。特に、端部は注意してください。●糊付け後のオープンタイムは、夏場5分、冬場10分程度を目安として現場状況に合わせて調整してください。●糊の付け置きは、一度にあまり多くしないでください。●下地がコンクリート、モルタル、ケイカル板、合板などの場合は、適切なシーラーを塗布してください。●貼り付け後、中1日程度養生期間をもうけ、糊が完全に乾いたこと、また、空気の入っている箇所がないかを確認後、仕上げ材を塗りつけてください。●リフォーム工事の場合、既設のビニールクロスをはがすと、クロス裏紙が残り、石膏ボードなどの下地にしっかりと付着している裏紙はそのままにし、ベラベラと剥がれかけの裏紙や、空気が入っている箇所の裏紙は、すべてきれいに剥がしてください。



日本プラスター株式会社

【本社・工場】〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

【東京営業所】〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

【西日本営業所】〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032

E-mail:info@plastesia.com

日本プラスター

検索

2022.03_B